大久保中学校の約束事（校則などについて）

1 日の生活サイクル

下記の校時表に定められた時刻によって、毎日の学校生活を送ります。

校時	時間帯	月	火	水	木	金
	8:05 登校完了	8:10 入室完了（予鈴）	8:15 着席完了（本鈴）			
	8:15～8:25	朝学習				
	8:25～8:35	朝の短学活				
1	8:45～9:35 (8:45～9:30)	授業	授業	授業	授業	授業
2	9:45～10:35 (9:40～10:25)	授業	授業	授業	授業	授業
3	10:45～11:35 (10:35～11:20)	授業	授業	授業	授業	授業
4	11:45～12:35 (11:30～12:15)	授業	授業	授業	授業	道徳
	12:35～13:25 昼休み (12:15～13:05)			13:25 予鈴 (13:05)		
5	13:30～14:20 (13:10～13:55)	授業	授業	授業	授業	授業
6	14:30～15:20 (14:05～14:50)	総合	授業	学活	授業	授業
	15:30～15:40 (15:00～15:10)	帰りの短学活				
	15:40～15:55 (15:10～15:25)	清掃				

※上記の校時表以外の時間帯になる場合もあります。

- ① 午前中授業の場合は、最終校時10分後より帰りの短学活を開始します。
- ② 45分授業になる場合は、上記の（ ）内の時間帯となります。

服 装（制服）

（1）冬 服（時期の目安：10月初旬～5月初旬）

- 詰襟学生服上下（学校指定）
※ソフトカラータイプでない場合は、必ず襟カラーをつける。
- 明石の制服（明石市の指定）
- 学生服の下は長袖白カッターシャツ・長袖白ポロシャツを着用する。
※襟付き、左胸にポケットがあるものとする。
- セーラー服上下及びスカーフ（学校指定）
- セーラー服の下にはセーラーズニット及びブラウスを着用しても良い。

（2）合 服（時期の目安：5月・10月頃）

- 長袖白カッターシャツ
※カッターシャツで、暑い場合は袖をしっかり折る。
シャツの裾はしっかりとズボンに入れ、ベルトが見えるようにする。
- 長袖白丸襟ブラウス・ベスト（ベストは着脱可）
- スカートまたはズボン
- 長袖白ポロシャツ

（3）夏 服（時期の目安：5月下旬～9月下旬）

- 半袖白カッターシャツ
- 学生ズボン
- 半袖白ブラウス
- スカートまたはズボン（肩紐は着脱可。ただし垂らさない。）
- 半袖白ポロシャツ（2つまたは3つボタン、左胸ポケット付き）
- 名札を左胸（ポケット上部）につける。
- カッターシャツ・ポロシャツの裾は、必ずズボンまたはスカートの中に入れる。

（4）服装についての注意事項（男女共通）

- 男女とも学校指定の制服または明石の制服（ブレザータイプ）を着用する。
- 名札は所定の位置につける。
- 肌着は、無地で白・黒・紺・グレー・ベージュの単色とする。
ハイネック型の肌着は着用しない。肌着は外から見えないように着用する。
※体操服や柄のシャツ等を着用してきた場合は、学校で着替えてもらうことがあります。ご注意ください。
- 靴下は、白・黒・紺・グレーの単色とする。ライン・メーカーロゴ付きは可。
キャラクターものやワンポイント、ボーダー、チェック柄等は不可とする。
- 衣替え期間は設けず、生徒それぞれの体調に応じた形での制服着用とする。
ただし、儀式的行事ならびに一部行事では、学校が指定する統一した服装で参加する。（その際は学校よりお知らせします。）

○制服を着くずさない。(下記の内容について注意してください。)

- ・腰パン、シャツ出し、必要以上にボタンを外す、裾をひきずるなど。
- ・ベルトは黒色(エナメル、極端に細いものや太いもの、バックルが大きく派手なもの、穴が必要以上に開いているものは禁止。)
- ・スカートの丈は、膝が隠れる程度。丈を短くしたり長くしない。
- ・セーラー服のスカーフは学校指定の三角巾型式を、スカーフ留めから 20 cm 程度出し着用する。

(5) 防寒具について

○セーター、学校指定のウインドブレーカー、手袋、マフラー・ネックウォーマー、タイツ・レギンスは着用可とする。ただし、下記の内容を守ってください。

- ・セーターは、Vネックまたは丸首の無地で黒・紺・茶・グレーの単色とする。
※暑くなった場合は、セーターを脱いで学生服で活動する。(セーターのまま
で活動しない。)
- ・ウインドブレーカーは学校指定のものとする。
- ・手袋、マフラー、ネックウォーマーは色彩の派手なものは避ける。
- ・マフラーやネックウォーマーは、顔などが隠れすぎないように着用する。
- ・タイツやレギンスは、無地で白・黒・紺・ベージュの単色とする。
※タイツ着用時の靴下は、履かなくても良い。
レギンスは、肌を見せないようにし、極端に短いものは着用しない。
体育の授業では着用しない。

服 装 (体操服)

○夏用・冬用ともに学校指定のものを着用する。夏用体操服(半袖トレシャツ)には、名札(アイネーム)を付ける。

※名札(アイネーム)の付け方は、入学後にお知らせします。

○制服の下に、肌着代わりとして着用しない。

頭 髪 (髪型)

【男女共通】

○自然で清潔感があり、学習や運動をする上で支障がない髪型にする。

○高校受験や就職試験に適した髪型にする。

○極端な刈り上げ、パーマ、モヒカン、アシンメトリー、脱色、染色、編み込み、エクステ、ライン、正面から見てシルエットが変わる髪型は禁止する。

○ツーブロックは、極端でないものにする。

※頭頂部までの刈り上げは禁止。

○脱色、染色、パーマは禁止する。

○前髪は目にかからないようにする。

○ワックス、ムースなどの整髪料の使用は禁止する。

○つけ毛（エクステンション、ウィッグ）は禁止する。

○眉は自然な状態で細くしない。触らないことを原則とする。

○襟足が長くなりすぎない。

○左右非対称の髪の長さ（前髪、横髪など）にしない。

※剃り込み（ラインも含む）は入れない。

髪を立てたり、くせをつけたりせず、落ち着いた髪型（自然の状態）にする。

横髪と後ろ髪の長さは、極端にどちらかを長くしたり短くしたりするなど不自然な髪型にしない。長さが違う場合は、短い方に長さを合わせる。

○肩のラインに髪の毛がつく程度になれば、黒・紺・茶色のゴムでくくる。

○くくるときに、顔が隠れないようにして耳の横に長く残さないようにする。（肩のラインに髪の毛がつく程度とは、真っ直ぐに立って毛先が肩の上ののってしまう長さ。）

※髪をくくる場合は、正面から見てシルエットが変わらないようにし、1つまたは2つつくりにする。三つ編みも可。

○シンプルなまとめ方やハーフアップ（肩にかかる場合は不可）は可とする。

○ヘアピンは、髪をくくる際に横髪や後ろ髪が落ちてこないように使用する。

○飾り付きの髪留めや大きすぎる髪留め、カチューシャ等は禁止する。（パッチン留めを使用しても良いが、大きさは名札サイズとする。）

※髪留めのピンは黒・紺・茶色とする。

前髪が長くなり気になる場合は、前髪を切るかピンで留める。（ピンは中途半端な位置で留めたり、必要本数以上に使用しない。）

○長い髪をくくることができないような極端な髪型にしない。

上 靴・下 靴

【男女共通】

○運動に適したシューズ（紐またはベルト）とする。部活動で使用している靴も可。

※ハイカット・ミドルカットは禁止。

色は自由だが、高価なものにならないようにする。

○校舎内では上靴（学校指定）、体育館では体育館シューズ（学校指定）を履く。

※上靴・体育館シューズはかかるとに名前を書く。上靴に落書きしない。かかるとを踏まない。

靴 下

【男女共通】

○靴下は、白・黒・紺・グレーの単色とする。ライン・メーカーロゴ付きは可。

キャラクターものやワンポイント、ボーダー、チェック柄等は不可とする。

鞆（かばん）

- 機能性を重視し持ち運びが便利で両手がふさがらないもの。
- 学習道具と部活動の道具が入り、ロッカーに収納できるサイズ。（容量約 30ℓ程度）
- キャリーバッグ（鞆にタイヤがついたようなもの）は不可。
- 色やデザインは特に規定はないが、キャラクターを模ったような形状、キャラクターが前面にプリントされているものは避ける。
- 補助カバンとして学校指定の小鞆を使用する。
- カバンにはキーホルダー類はつけない。落書きをしない。シールを貼らない。

所持品

- 学校生活に不必要な物は持ってこない。 わからないもの（判断に困るもの）は担任に確認してください。
- 携帯電話・化粧品・時計などは持ってこない。
- お金は必要以外持ってこない。（担任に預けない場合は、個人の責任となります。）
- 危険物（ナイフ、ライター等）は持ってこない。

飲料

- 飲み物は水筒にお茶を入れて持参する。（ペットボトル可。学校ではゴミとしては出さず、必ず持ち帰る。）
- 熱中症予防の観点からスポーツドリンク（炭酸を含むものは不可）も可とする。

その他

- 持ち物にはすべて名前を書く。
- 化粧品は禁止。
※化粧品をして登校してきた場合、落としてから学習活動へ参加する。
- ピアスなどアクセサリ類は禁止。
※つけてきた場合、学校で預かり、不要物同様保護者の方に取りに来ていただきます。
- 爪は長く伸ばさない。マニキュアは禁止。